

議事録要旨

会議名	第11回ブランド専門部会
開催日時	平成29年11月1日(水) 19:30~21:30
開催場所	あわら市役所 102会議室
出席者 (敬称略)	<p>【部会員(6名)】 市民/五十嵐平、笹岡太久磨、吉田知奈、福井工業大学/下川勇(准教授)、あわら市/見澤香織、中島綾一</p> <p>【オブザーバー(6名)】 大広/菱田、新島、うたみな/山中、大広北陸/芦澤、越智、上野(記)</p> <p>【事務局(3名)】 あわら市総務部政策課/武田(課長)、藤田(課長補佐)、山崎(主事)</p>
欠席者 (敬称略)	<p>【部会員(5名)】 市民/江畑将享、奥中秀尚、あわら市/松本智美、西田浩也、堀川由貴</p>
協議事項	<p>(1) 「ああ、あわら贅沢」ブランドサイトのコンテンツについて</p> <p>(2) あわら市地域ブランド発信事業について</p> <p>(3) その他</p>
会議内容 の要旨	<p>進行)事務局</p> <p>開会の挨拶(部会長) ブランド的要素を以前(あ、わらってる)からしてきたが、一度立ち上がっては、流れていく事があったので、こういったことがないようにしていきたい。また、スピード感をもって進めていきたい。あわら市の事を一番に考えながらブランドが成功するようにしていきたいので、官民一体になって成果を上げられるように協力してほしい。</p> <p><協議事項></p> <p>(1) ブランドサイトのコンテンツについて</p> <p>オブザーバー</p> <p>町の中が活性化して、外にむかっていくようにしていきたい。</p> <p>現状制作した/している記事テーマについて</p> <p>① 新幹線の駅前を市民みんなでつくる、というあわら贅沢 新幹線が来る。こういう街になる未来図。市民参加で行っています。をあわら贅沢の一つとして紹介。</p> <p>② 74もの源泉!湯めぐり文化が息づく温泉街、というあわら贅沢。 いろんな温泉がある。歴史がある。バラエティにとんでる温泉がある。をあわら贅沢の一つとして紹介。</p> <p>③ アーティストが住んで創作活動をする森がある、というあわら贅沢。 アートの拠点がある。県外からの移住の方がいる。移住された方は海外の経験もされている方もいる。他方からみたあわらの贅沢を紹介。</p>

議事録要旨

- ④ 甘くて美味しい完熟農産物を味わえる、というあわら贅沢。
食、さつまいも、いちごがある。観光農園もあり体験ができるあわら贅沢を紹介。
- ⑤ 宅配ボックスで共働き世帯を応援してくれる、というあわら贅沢。
共働きが多くても子育てを分担して家族仲良く暮らしている。また宅配ボックスでの社会問題にも取り組んでいるあわら贅沢を紹介。
- ⑥ 大人気かるた漫画「ちはやふる」の世界に触れられる、というあわら贅沢。
マンガ聖地がある。そこには桜並木がある。かるたという文化がある贅沢を紹介。
- ⑦ 移住してきた人が充実した暮らしを楽しんで、というあわら贅沢。
食。ソフトクリーム。あわら市を選んで移住された方が農業ではなく酪農している。
という贅沢を紹介。
- ⑧ 日本代表や世界一も夢じゃないカヌーの聖地、というあわら贅沢。
スポーツ。世界へつながっている。uターンしてきた。湖がある贅沢を紹介。
- ⑨ おいしいトマトやメロンが育つ豊かな風土、というあわら贅沢。
食。トマト、メロン。uターンしてきた。この地に応じた風土を活かしている贅沢を紹介。

もうすぐ公開

- ⑩ 100年続けて伝統にしたい。55トンの温泉の湯をぶち撒けまくる祭「あわら湯かけ祭」
温泉。あわらと金津が一つになる為の地域おこしのお祭り。オンリー1の湯かけ祭りがある贅沢を紹介。

ここまでは、前回部会のアイデアから紹介してきた内容です。

今後の記事テーマとして、「うららん」というあわら贅沢を進めて11月中には公開予定ですすめています。12月以降のテーマを考えていきたい。

12月～3月のテーマとして、

寒ぶな・洗いブツ・ヌタ・すずめ焼き・大和じじみ、湖海など漁協関連などがないので、この辺をテーマで考えています。2つめはブランドaセレクションECサイトの紹介で、農作物だけでなく加工品に焦点をあて、あわら市外や県外からも購入できるものもテーマにしていきたい。3つ目は、雪と温泉と日本酒など、冬の旅情で何かオリジナリティのあるものを打ち出せないのか。4つ目は、温泉旅館の変わった名物がいくつかあれば、紹介していきたい。

その他、何か紹介したいものがあれば教えて頂きたい。

- 風車、地産地消ではないが、北潟湖の海風による新エネルギー
- 昔、あわら一体はお茶の産地で、パリ万博金賞も受賞したこともある。堀川製茶の若い店主が万博茶ということで再生しようとしている。
- 吉村農園という米農家で見たことのない変わった野菜を作っている。

オブザーバー（今後記事にする予定として）

議事録要旨

	<p>一つは a セレクションというくりで柿とかお茶などの記事（あわせて）吉村さんの記事 寒ブナなど冬のごちそう記事</p> <p>風車で地産（地消）エネルギーをつくる、地熱発電など旅館 2 軒活用している自然 エネルギーの記事</p> <p>オブザーバー（今後の記事テーマの集め方） 掲載する記事の募集を行ってみては？ 広報紙や市のホームページや Facebook など ネタ集めの材料やサイト閲覧の定着を図る。</p> <p>平成 29 年度あわら市地域ブランド発信事業について オブザーバー（あわら贅沢リボンについて） ああ、あわら贅沢の浸透・発信を図る商品開発事業として、あわら市内の企業や 様々なサービスで活用できる「あわら贅沢リボン」を制作しました。 用途として、市内の花屋・お土産屋・ケーキ屋・ホテル・旅館など様々な業種のサービ スに利用。また、市役所や本屋などに置いておき、市民のだれもが利用できるようにし ていきたい。贈る人、贈られる人全ての人が「ああ、あわら贅沢」を共有して頂きたい。 他にもこういう使い方があるのでは。とか、このシーンで使えばブランドが定着するの では。など何かあれば、教えて頂きたい。</p> <p>オブザーバー（あわらむすび project について） あわらむすびプロジェクトとは、ブランド振興を加速させる取り組みです。 ・ T F T おにぎりアクションオフィシャルパートナー 社会貢献として、寄付つき商品「花あかり」の販売。また、おにぎりに関する写真の投 稿で寄付。 ・あわらむすびイベント プロジェクト立ち上げのキックオフイベントとして、「いちほまれ」と「花あかり」の食べ比べ イベントを 11 月 5 日（日）と 11 月 11 日（土）に実施。イベント当日は、おにぎ り写真を投稿した人に無料配布。（それぞれ先着 500 名） ・ F M 福井番組企画 あわらむすび商品化に向けて、あわら市の飲食店に協力してもらい、お店独自のあわ らむすびを表現。P O P や F M 福井番組放送、サイト掲載、福井新聞 fu に掲載し 市内市外の周知と定着を図る。次年度は県外への認知拡大も進めていく方針。 F M 福井番組企画として、10 月放送第 1 回目「らーめん福の神」炙りチャーシューお むすびを放送。第 2 回目「2ndhouseCrossp's」おむすび in NEWYOKU を放送。 他に、ご協力頂ける店舗があれば教えて頂きたいです。</p>
--	---

議事録要旨

	<p>事務局 あわら市にもお店などから問い合わせがあり、ケアハイツの認知症カフェやカメハメ八大農場からあわらむすびを作りたいという依頼がありました。</p> <p>部会員 ドイツでおにぎりが流行っている。なぜなら、ヘルシーで手軽で持ち運べる。おにぎりのポテンシャルは手軽さではないか？重々しくお店でおいてしまうと、格式がでしてしまうので、手軽さがなくなってしまうとおにぎりの魅力が薄れるかもしれませんね。どちらかという、手軽なイメージを出しては？○○しながら食べるというシチュエーションも含めて、少し考えてみてはどうでしょう？</p> <p>オブザーバー 今後、温泉旅館とかテイクアウト専門店とかシーンにあわせて、様々な形態にあわせておむすびが食べられるお店があるのがあわらなんだというようなブランド力にしていきたい。</p> <p>オブザーバー 22 時以降夜泣きそばなど頂ける旅館もあるけど、それをおむすびに変えていったりできればよいかも。小腹がすいたときにお渡しするのもよいかも。</p> <p>部会員 能登の旅館で、夜に差し入れでおにぎりを持ってきてくれた事があって、うれしかった記憶がある。</p> <p>オブザーバー 清風荘など朝早いとおむすびを渡してくれる。これって贅沢ですよ。</p> <p>事務局 芦原温泉はどこでもしていますね。昔は（大型化する前）は夜食というとおむすびが出てきた。三角だったり俵だったり、旅館によって形や具が様々だった。</p> <p>オブザーバー 難題として、普通のおにぎりをあわらむすびと呼んでいいのかということもあります。定義もふわっとしている部分もあるが、たまたま今回紹介した店舗はエッジのきいた、ビジュアル感のあるおむすびを提供してくれた。</p> <p>オブザーバー</p>
--	--

議事録要旨

番組を続けていくうえで、攻め感の強いおにぎりだけでなく、おむすびが根付いているあわら市を表現してもよいのでは？

下川先生もおっしゃっていたが、おむすびの手軽さの中にいろいろな思いを込めてつくりましたとか、昔はこうだったですとかストーリーがあるものも良いかも。

部会員

旅館がふとだしてくれるおむすびは、おもてなしの心ではないかと思います。具ではなく、気持ちみたいなものもあってもよいかも。

オブザーバー

ストーリーなどの背景もみせる回、うちの家庭のおにぎりはこれとかそういう回もあるのもおもしろいので、今後の紹介として進めていきたい。

オブザーバー

おむすびの包み方とかおむすびだけでなく、姿かっこうなどおむすびに関わることを表現してもおもしろいのでは。

オブザーバー

給食におむすびとはどうでしょうか？大野ではあります。

部会員

おむすびを渡すときに「はい、あわらむすび」という言葉が東京などでもでてくるようなブランドの定義としても良いのでは？

オブザーバー

筑前煮など料理の名前に地名が入っているイメージですね。

部会員

はい、あわらむすびの言葉を好意として受け入れられるブランドになればよい。

おもてなしの気持ちで渡す場合に「はい、どうぞ」を「はい、あわらむすび」のようになれると良いですね。こういう次元があってもおもしろいかなと思います。

旅館の人がお客様におむすびを渡す際に、はい、あわらむすびという言葉を出すように定着させてもよいかも。

オブザーバー

まだ浸透していないあわらむすびを1個ずつ定着させていく事も必要ですね。

旅館の人が朝早い時間に出発する方に、あわらむすび用意しますなど、ご案内してみ

議事録要旨

	<p>たり、このときにあわら贅沢リボン使用してみたりしてはどうでしょう。</p>
	<p>オブザーバー 将来的な話も含めて、今回の話をふまえたレギュレーションを変えていきたいと思いません。</p>
	<p>オブザーバー 秋吉など、全国チェーンのお店だけど、あわら市の秋吉だけあわらむすびで出てくるなども良いかも。</p>
	<p>オブザーバー これからもあわらむすび定着について考えていきたいので、いろいろなアイデア出して頂ければと思います。</p>
	<p>オブザーバー（「あわら贅沢」を市民に浸透・定着を図るためのアイデアについて） ああ、あわら贅沢をさらに市内の方々に浸透・定着させ、市外へ発信するアイデアを募集します。あわらむすびを体感実感できるイベントだったり、ブランドを浸透させるグッズなど作ってみてはなど、具体的な意見でなくてもよいので、自由な発想でアイデアを頂けたらと思いますので、ご協力お願いします。</p>
	<p>オブザーバー 浸透させるツールとして、あわら市に全戸配布する冊子があっても良いかも。</p>
	<p>事務局（その他） いろいろなアイデアをみなさんから募集しながら、スピード感を持って進みたいと思います。江畑さんが富山に転勤になったため、部会に参加できなくなりました。代わりに市民代表として、伊藤さんに今後出席して頂く事になりましたので、お知らせします。 その他、何かございますか？</p>
	<p>オブザーバー あわらむすびの取り組みは良いと思います。ただ、あわら贅沢のロゴとあわらむすびのロゴが並んでしまうと、ややこしく感じるので、あまり並べるのはよくないのでは。 また、あわらむすびはあわら贅沢の大きなくりの中の一つだと思うので、その辺を解りやすく表現してほしい。</p>
	<p>部会員 越前町に行ったときにとてもすごい贅沢を感じました。鯖のへしこのトロ食べたことありま</p>

議事録要旨

	<p>すか？油っこくて流通されないあまりものみたいです。地元の人しか食べないもので、民宿で食べさせて頂きましたが、とてもおいしかったです。つまり、地元の人にとっては当たり前の事なんだけど、観光客にとってはすごい希少性を感じる。このような事が贅沢なんだろうなと思いました。価値のないと思っていたものが価値がある事もある。</p> <p>リサーチにくいものの中に本当の贅沢が眠っているのかも知れませんね。</p> <p>部会長挨拶（最後に）</p> <p>プロの方のお仕事、行政の方の知識、市民は市民目線の考え、それぞれの立場で今後も話あえたらと思います。お話もあったようにスピード感をだしながら進めていきたいです。あわら贅沢とあわらむすび二本柱になって少し違和感もありますが、この辺も考えながら、今後のあわら市のブランド会議を進めていければと思いますので、皆さまご協力お願いします。</p>
--	--